

ムの構築を推進できる経済及び税制システム。⑤循環経済のパネル評価メカニズムと持続可能な発展を評価する指標システム。循環経済の基本原則に一致した新しい工程と技術を開発し、循環経済の実施に技術的なサポートを提供する。

### 3.2 国家環境保護総局各部局による循環経済諸活動の進捗

2000 年以来、中国の急速な経済成長による環境負荷及び環境思想の国際的な新しい潮流の下で、国家環境保護総局は循環経済の発展と生態工業エリアの建設を地域の持続可能な発展および経済と環境両方の成功を実現させる重要な措置とした。全国範囲で各レベルと視野、各領域から循環経済の発展について理論を模索し、実践を試みた。

#### 1、広報と理論の模索

全社会に向けて循環経済を広報し、循環経済の発展に土台を作るため、国家環境保護総局は循環経済と生態工業に関する国際セミナーや、シンポジウムを多数開催した。外国の循環経済理論と実践の経験を紹介し、また広報と議論を行なった。

#### 2、循環経済と生態工業建設の試験を広範に行なった。

中国の国情にふさわしい循環経済と生態工業の発展路線を模索し、今後より大きい範囲で循環経済を全面的に推進し、経験を積み、また条件を作り出すため、国家環境保護総局の指導の下で、異なった地域と業種で循環経済と生態工業の試験が行なわれた。二年の間、総局は六つの国家级生態工業エリアの建設のための検討組織を設置し、また承認をした。二地点の循環経済試験を現在行なっている。なお、生態工業エリア建設と循環経済試験に基づき、中国の特色を活かして「生態工業エリア評価指標システム」と「生態工業エリア企画ガイドライン」を形成させた。その後、中国の循環経済と生態工業を次第に技術水準と効率が高く、規範化した軌道にのせた。

目下、サトウキビの栽培と製糖を主とした貴港国家级生態工業（製糖）モデルエリアと環境産業を主な方向とした南海国家级生態工業モデルエリアはすでに名称をもって、運営を始めた。アルミと電力の合同経営を主とした包頭国家级生態工業（アルミ業）モデルエリア及び生態保護で生態工業の建設を推進する石河子国家级生態工業（製紙）モデルエリア、機械電力やバイオテクノロジー、自然観光業を一

体とする長沙黄興国家級生態工業モデルエリア、リン化学工業生産過程からの廃棄物の高効率の利用を特徴とする魯北国家級生態工業モデルエリアは、国家環境保護総局の検討組織で承認された。旧工業エリアの再建設と産業構造の調整を目標とする遼寧省循環経済試験点および地元の資源的優位性をもって新しい産業構造を構築しようとする貴陽市循環経済エコシティ試験も現在実施中である。そのほか、一部の省と都市も実情に合わせて関係試験を実施している。例えば、江蘇省は現在第一次と第二、第三次産業の循環経済の構築を組織している。一部の企業も自発的に内部の産業組み合わせと物質循環を行なっている。天津経済技術開発区、登封発電所がその例である。循環経済と生態工業の建設が今後全国で勢いよく発展する傾向である。

### 3、循環経済を建設する中で国家環境保護総局各業務部局の位置づけと役割

循環経済を発展させ、環境を保全し、経済成長の質を向上させるといった外国の経験を参考にし、中国環境汚染の深刻さにより、循環経済を発展させる中、国家環境保護総局の機能は全国の循環経済活動の組織と調整、指導である。各業務部局の責務は以下となる。

(1) 政策法規司：循環経済を推進する法律システムの研究を組織し、循環経済を発展させる法律と政策、管理制度を制定する。

(2) 科学技術標準司：循環経済を発展させる技術方法システムと指標システムの構築を組織し、循環経済を発展させる技術コンサルティングチームを組織と支援をする。なお、循環経済発展計画と案の制定、生態工業モデルエリアの建設と循環経済試験活動につき、地方を指導する。

(3) 汚染抑制司：汚染抑制の具体的なタスク（例えば、漢方医療系ゴミや廃電池、廃電子製品、廃棄物輸入の管理などの問題）と連携して、循環経済に関する活動を行なう。

(4) 自然司：主に生態省の創設などの活動を担当する。

### 3.3 中国の研究機関による循環経済の研究状況

循環経済が中国で芽生えるにつれて、この分野に注目する研究機関が次第に多くなってきた。目下、主に以下のような研究機関がある。